



は 初・N・E・T

初台リハビリテーション病院

URL <http://www.hatsudai-reha.or.jp>

2006

新緑号

編集・発行／医療法人 輝生会 初台リハビリテーション病院 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5365-8500

平成18年5月15日（通巻第10号）

当院の特色 ST部門（言語療法部門）

今回はST部門（言語療法部門）を紹介させていただきます。

リハビリテーション医療の世界では、理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）と、いつも並んで称せられます。でも、いくつか違いがあります。PT・OTは国家資格になって既に40年。STは、最初の国家試験が行われたのが、今から7年前の平成11年。その年、養成校の新卒者に加えて「現任者」も大勢受験し、一挙に約4000人の「言語聴覚士」が誕生。現在では全国で11298名の言語聴覚士がいます。

日本での言語聴覚障害児者へのサ

ービス（「言語治療」とか「言語療法」とか「言語訓練」など）の実践ということになると、既に40年近い歴史があります。しかし、国家資格ではなく、診療報酬の上でPT・OTと大きな差があったため、就職口も少なく、養成校も昭和46年に開校した1校だけという時代が長く続きました。そのせいで、現在のSTの人口は極端な末広がり年齢構成になっています。初台でもそうですね、チーフだけ50代で、ほかは皆20～30代の若者ですから！！

PT・OTとの違いは、歴史、年齢構成ではありません。様々な研

究の蓄積が乏しく、教育基盤も脆弱。養成校が急増したので、現在50校以上あるといわれる養成校（高卒者対象の3年制の学校から、大学院を併設した大学まで様々）の実績、教育の質、教員のレベルなどのばらつきが大きいからです。質の向上が今後の課題です。更に、社会の中での認知度も低く、男子にとって一生の仕事としての魅力が乏しいのか（??）、圧倒的に女性が多くなっています。当院でも、現在、28名中男性はたった1名です。でも、今は女性が元気な時代ですから、その象徴でしょうか！！

さて、背景的な話はこの位にします。STがどんな仕事をしているか、ご紹介しましょう。

STは、本来は、先天的な障害によるコミュニケーション障害も後天的な障害によるコミュニケーション障害についても、評価・言語診断・治療・心理的援助等を行ないます。例えば、先天的な唇裂・口蓋裂児の構音（発音）の障害、聴覚障害児の聴能訓練、知的障害児の言語発達促進訓練等々。

しかし、初台のような成人対象のリハビリテーション病院では、成人の後天的な障害に対するリハビリテーションを中心に担っています。「具体的な内容は？」という、対象者によって内容や方法論は多種多様ですが、簡単な例を示すと：

（次ページに続く）



春季号
ラインナップ!!

2P 当院の特色 ST部門
言語療法部門
アンケートご協力をお願い

3P “好評連載！” 部署紹介 vol.7
薬剤科メールvol.7
～薬の管理グッズ～

4P 病棟お食事紹介
テニス部
あとがき

失語症で言葉が思い出せない人

- ・絵や写真を見て、聞いた言葉と結び付けたり
- ・STの真似をして言ったり、字で書いたり 等々

運動障害性構音障害で、発音が不明瞭な人

- ・発音に使う、顎・唇・舌・軟口蓋などの運動
- ・一つ一つの音を一つずつゆっくり、2つ続けて、3つ続けて、速く言うなどの発音練習

摂食嚥下障害の人

- ・「ごっくん」と飲み込む反射を誘発する、誤嚥しにくい食物から順に食べる等

高次脳機能障害の人

- ・毎日自分がやったことを記録するメモリーノートの定着のために訓練
- ・過去の出来事や経験を思い出したりする記憶訓練
- ・文字列の中から一つの文字を漏れなくチェックする注意課題等

上記の中で、「摂食嚥下障害」については、平成9年に制定された「言語聴覚士法」に明文化されたことによって、言語聴覚士がその評価・訓練計画立案を受け持つという流れが急速に形成されました。それ以前は、様々な職種が手探りをしながら取り組んでいました。現在では、STが中心となって、多職種のチームで取り組んでいる所が多くなっています。

ところで、言語聴覚療法を受けている方にとっては、病気になる、障害を持つようになっただけでもつらいのに、STが提示する課題は、どれもこれも、「こんなのくだらない」

「やりたくない」という想いを抱かせ、る可能性があります。そういう想いを察知し、少しでも、リハに主体的に取り組む意欲が引き出せるようにするのはSTとしてのプロの技だと思っています。更に、コミュニケーション障害を扱う訳ですから、ST自身が利用者の方々やチームのメンバーとの関わりの中で、コミュニケーション障害にならないよう、常に努力しないといけないとも思っています。

ST部門チーフ 藤林 眞理子
(前ページ写真前列中央)

白習室 ▶



▼言語療法室



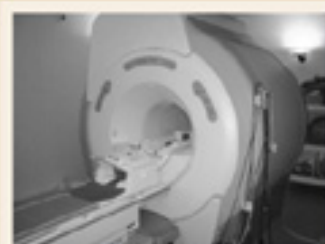
アンケートで協力をお願いします

初NETをご愛読いただきありがとうございます。早いもので通巻10号を迎えることができました。この初NETは日常業務の傍らで当院スタッフが構成から編集までを行なっております。これまで様々な記事を掲載してきましたが、ここで一度初心に立ち返りご愛読いただいている皆様が本当に知りたいことは何かということ、アンケートという形で調査してみようと考えました。これまではこちらからの一方的な情報の発信になってしまっていた為、その点を見直し読者の方が本当に知りたいことを記事として掲載していきたいと考えております。お手数だとは思いますが、皆様からのご協力のもと我々編集スタッフも精一杯取材いたしますので、ご協力宜しくお願い致します。

初NET編集員一同



今回の各部署紹介は診療部放射線科です。当院は脳卒中による障害のリハビリ専門病院なので検査部位も頭部が中心となります。1.5テスラのMRIにより脳の細部の状況まで把握でき、MRA検査により脳血管像も造影剤等を使用することなく短時間（頭部MRA検査は6分）に描出可能です。



1.5テスラMRI装置

T(テスラ)は磁束密度の国際的単位。ビップエレキバンは0.08Tです。MRI(Magnetic Resonance Imaging)の略です。MRI(磁気共鳴映像)

急変時にも迅速に対応できるようにヘリカルCTも有り患者さんの病状により使い分けています。

全ての画像データはデジタル化されており、各階の高精細モニタにより読影が撮像終了直後より可能です。また、他院で撮像した過去画像も全てデジタイザによりデジタル画像として取り込んでいるので、過去画像との比較読影も容易に出来ます。

放射線科では、患者さんにやさしい撮影室を目指し、撮影はできるだ

け車椅子のままで行い、各撮影室寝台も昇降式になっており、患者さんに負担をかけずによりよい画像が提供できるようにしてあります。また、検査室と連携をはかり、撮影室で、心電図等の生理検査も行い検査のための移動時間の短縮に努めています。今後も苦痛なく短時間にレベルの高い画像検査が出来るように日々努力していきます。(他院からの紹介MRI検査も実施しています。)

診療放射線技師 宇田川 功実



高精細モニタと電子カルテ

203 インチ液晶高精細グレースケールモニタ
解像度1536 X 2048
各階処置室に配備



ヘリカルCT装置

らせん式X線コンピュータ断層装置・X線管球の回転と寝台の移動を同時に行うことで身体をらせん状にスキャンし一度に多くの範囲の撮像ができる。よって短時間撮像が可能。



全身用骨密度測定装置

骨粗しょう症診断
骨折リスクの診断に有用



デジタイザ

フィルムを取り込みデジタル情報に変換



MRI装置操作卓

薬の
管理グッズ

薬は毎日決まった時間に内服することが大切です。飲み忘れを防ぐ為に様々なグッズがあります。そのいくつかを紹介したいと思います。

①ペンダントタイプ：ネックレスの先端にチタン製のビルケースがついていて、持ち歩きに便利で飲み忘れも防げます。頓服

薬を持ち歩く際にも便利です。
②カレンダータイプ：カレンダー型で日付にポケットがついているタイプで1か月分の薬をセットできます。
③1週間管理BOX：1週間分の薬を

入れて管理でき、飲み忘れを一覧でチェックできます。
④ビルケースタイプ：持ち運びの便利なケースです。

薬剤科 植竹 由佳



②カレンダータイプ



③1週間管理BOX



④ビルケースタイプ

病棟お食事紹介



かがやき食



やすらぎ食



ソフト食



嚥下食

今回は病棟の食事を紹介します。私たち栄養科は各病棟に管理栄養士を配属し、患者さまひとりひとりに栄養管理を行い、個々に見合った食事を提供しています。生活習慣病などでカロリー制限されている患者さまや嚥下機能に障害がある患者さまにも少しでも楽しく食事が召し上がっていただけるよう、栄養士、調理師、管理栄養士が日々話し合いを繰り返し、患者さんに適したメニューを提供できるよう努力を重ねています。食事は味付けだけではなく、食材から少しでも季節の移り変わりを感じていただけるよう心がけています。食事について何かご意見・質問などがありましたら、病棟の管理栄養士に一言声をかけてください。目印は**オレンジ色**の名札です。栄養科 毛塚 真理子



かがやき食



やすらぎ食



ソフト食



嚥下食

こちらテニス部です。

こんにちは。今回はテニス部を紹介させていただきます。サークル名は「輝生会 テニスサークル」です。去年9月にできたばかりです。月2回のペースで活動しています。顧問は院長とSTチーフの藤林さんです。メンバーは、初心者からコーチ経験のあるプレーヤーまで様々です。回を重ねることに皆メキメキ腕をあげています！目標は、輝生会 テニスサークルのメンバーで、団体戦に出ることです。

まだ、メンバーが少ないので、これから暖かい季節に向け、メンバーがたくさん増えたらいいと思います。

サポート部 今井 ゆみ



このほか男・女合わせて10名位のメンバーで活動しています。

あ と が き

今号の初ネットはいかがだったでしょうか。初ネットもおかげ様で通巻10号を迎え、今回はアンケート形式で、皆様からご意見・ご感想を募集する事となりました（期間限定）。今後とも、皆様のお役に立つ、タイムリーでより良い情報を提供できるよう、頑張っていきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

作業療法士 松戸 彩

